



決め手は、青森県産。

りんご・特産果樹生産情報（号外）
（春作業について）



令和3年3月18日発表

青森県「攻めの農林水産業」推進本部

発芽は早まる見込み！
りんご黒星病の越冬落葉処理を実施しよう！！
薬剤散布は遅れずに!!!

I 概要

今年、3月前半の気温が平年より高めに経過したため、りんご及び特産果樹の発芽が早まる見込みである。このため、剪定枝の片づけや施肥、薬剤散布、マメコバチの活動時期の調節、霜害防止対策などを急ぐ。

りんごの黒星病は、菌密度を低下させるため、下草が生育し始める前のできるだけ早い時期に越冬落葉を除去するかすき込む。

おうとうやももなどの「発芽前」の薬剤散布は、自園地の状況を確認し、遅れないよう実施する。

II 生産情報

1 生育の進み

気温は3月前半が高めに経過したため、各品目とも発芽は早まる見込みである。

うめ‘豊後’の発芽日は、五戸（りんご研究所県南果樹部）で平年より9日早い3月11日であった。

なお、消雪日は、黒石で平年の3月28日より1週間程度早まる見込みであり、五戸で平年より18日早い3月2日であった。

○りんごの発芽日 (月. 日)

地 域	年	つがる	ジョナゴールド	王 林	ふ じ
黒 石 (りんご研)	平 年	4. 6	4. 5	4. 6	4. 7
	前 年	3. 29	3. 27	3. 27	3. 29
五 戸 (県南果樹部)	平 年	4. 7	4. 5	4. 6	4. 7
	前 年	3. 30	3. 28	3. 28	3. 30
青森市浪岡 (東青地域県民局)	平 年	4. 10	-	4. 7	4. 9
	前 年	3. 31	-	3. 30	3. 31
弘前市独狐 (中南地域県民局)	平 年	4. 6	4. 4	4. 4	4. 6
	前 年	3. 27	3. 26	3. 27	3. 29
板柳町五幾形 (西北地域県民局)	平 年	4. 6	4. 4	4. 6	4. 8
	前 年	3. 27	3. 26	3. 28	3. 30
三戸町梅内 (三八地域県民局)	平 年	4. 5	4. 4	-	4. 6
	前 年	3. 29	3. 28	-	3. 29

注) 発芽日：頂芽の頂部が破れ、青味の現れたものが3個以上認められたとき
平年値：2001年～2020年の20か年平均。

○特産果樹の発芽日 (3月18日現在、りんご研究所県南果樹部)

年	ぶどう (露地)		おうとう	も も	西洋なし		う め
	キャンベル・ アーリー	スチューベン	佐藤錦	川中島 白 桃	ゼネラル ・レクラーク	ラ・フランス	豊 後
本年	—	—	—	—	—	—	3. 11
平年	4. 28	4. 30	4. 23	4. 17	4. 12	4. 11	3. 20
前年	4. 26	4. 30	4. 24	4. 10	4. 1	3. 31	3. 9

注) 平年値：2001年～2020年の20か年平均。ただし、川中島白桃は2004年～2020年の17か年平均。

2 作業の重点

(1) りんご

ア 黒星病対策

菌密度を低下させるための耕種的防除が重要である。

下草が生育し始める前のできるだけ早い時期に、越冬落葉を除去するかすき込む。

(ア) 越冬落葉の除去

越冬落葉をレーキや竹ぼうき等で集め、園地外へ搬出・処分する。作業時間は竹ぼうきを使用した場合、10 a 当たり延べ27時間程度である。

(イ) 越冬落葉のすき込み（中耕）

樹列の片側にある越冬落葉をレーキで樹冠下に集め、深さ5 cmで1回、小型耕うん機で耕うんする。作業時間は10 a 当たり延べ9.5時間程度である。

(ウ) 処理時期

下草が生育し始めると越冬落葉とからみついて処理しにくくなるので、下草が伸長する前のできるだけ早い時期に作業を終える。

イ 施肥

消雪後できるだけ早く、遅くとも4月20日頃までに行う。

ウ マメコバチの活動時期の調節

本年はマメコバチの活動が早まると見込まれるので、巣筒の状態を確認し、まゆを破るカチカチという音がし始めた頃に、巣箱を0～5℃の冷蔵庫に入れる。

(2) ぶどう

ア 園地の点検

雪で傾いた支柱や破損した腕木を取り替え、架線が緩んでいるものは、補強して主枝を結束し直す。病害の発生源となる架線上の巻きひげや成り跡を切り取り処分する。また、樹幹部の粗皮はぎを行う。

イ 施肥

基肥を秋期に施用している園地では消雪後、速やかに（4月上旬）標準施肥量の10%程度を追肥として施用する。標準施肥量は、成木10 a 当たり成分量で窒素15kg、リン酸10kg、カリ10kgである。

(3) おうとう

ア 摘芽

大玉、良品質生産には摘芽の効果が高いので、催芽前に行う。実施する際は、葉芽は必ず残し、花束状短果枝の花芽を3芽程度残すようにする。また、開花時には人手授粉を必ず行う。

なお、霜の常襲地帯や花芽の少ない樹、樹勢の強い樹では、摘芽は行わない。

また、本年は一部地域において、花芽の枯死や褐変などの障害がみられているので、花芽を割って、自園地の状況を確認する。障害の割合が高い場合は、摘芽を控える。



摘芽前（花芽数：6個）



摘芽後（同：3個、大きい花芽を残す）

（4）病虫害防除

ア おうとう

ウメシロカイガラムシ対策として、「発芽前」にハーベストオイル50倍又はトモノールS 50倍を散布する。発生の多い樹では、「発芽前」の薬剤散布前にワイヤーブラシ等で越冬成虫を落とす。

イ もも

縮葉病及び黒星病対策として、「発芽前」にチウラム剤（チオノックフロアブル、トレノックスフロアブル）500倍又は石灰硫黄合剤7倍を散布する。なお、「発芽前」に縮葉病対策としてキノンドー水和剤40の500倍を散布すると、この時期の黒星病対策の防除剤は必要ない。「発芽前」の散布は、縮葉病防除の基本であるので、散布むらがないよう丁寧に行う。

ウ なし

リンゴハダニが多い園地では、「発芽前」にハーベストオイル50倍又はスピンドロン乳剤50倍を特別散布する。

アブラムシ類及びハマキムシ類対策として、「発芽期」にダイアジノン水和剤34の1,000倍を散布する。

エ すもも

ふくろみ病対策として、「発芽前」にチウラム剤（チオノックフロアブル、トレノックスフロアブル）500倍を散布する。

（5）共通事項

ア 剪定、枝片付け

施肥や薬剤散布などの春作業に支障のないように、剪定や枝片付けを急ぐ。剪定後は切り口保護のため、塗布剤を速やかに塗布する。

イ 野ネズミ対策

地際付近の樹皮を完全に一周して食害された場合は、盛り土を行いカルスの形成を促すと同時に、可能なものは寄接ぎを行う。

地際部以外では、食害の程度に応じて塗布剤を塗布するか、植え替える。

ウ 薬剤防除の準備

スピードスプレーヤの点検・整備を行う。

エ 霜害防止対策

花芽の耐凍性は発芽とともに低下し、霜害を受ける危険性が高くなるので、防霜ファンの作動確認や燃焼器、燃焼資材を早めに準備する。

《 農薬使用基準の遵守 》

農薬を使用する場合は、必ず最新の農薬登録内容を確認する。

また、短期暴露評価の導入により使用方法が変更される農薬は、登録内容の変更前であっても、変更後の使用方法で使用する必要があるため、変更の有無を次の Web サイトで確認してから使用する。

○農林水産省「農薬情報」

http://www.maff.go.jp/j/nouyaku/n_info/

○(独)農林水産消費安全技術センター「農薬登録情報提供システム」

http://www.acis.famic.go.jp/index_kensaku.htm

○青森県農業情報サービスネットワーク「アップルネット」農薬情報

<https://www.applenet.jp/>

農薬の使用にあたっては、事前に周辺住民に対し、農薬の散布日時や使用者の連絡先等を十分な時間的余裕を持って知らせる。また、農薬の飛散により、周辺作物や近隣の住宅等に被害を及ぼすことのないように、農薬飛散低減対策に留意して散布する。

《 ポジティブリスト制への対応 》

農薬の飛散により、周辺住民及び作物に被害を及ぼすことのないように、散布情報の提供・交換等地域が連携し、農薬飛散低減対策に留意して散布を行う。

《 りんご黒星病防除情報等配信サービスのお知らせ 》

令和3年度の高品質りんご生産に向け、りんご黒星病の適期防除等に活用できる情報をメールでお届けする「りんご黒星病防除情報等配信サービス」を開設します！（開設予定：4月上中旬）

詳細は、(<https://www.applenet.jp/apple-seisan/apple-seisan-174345/>) をご参照ください。



農作業安全を心がけましょう！

融雪水による園地浸水や土砂災害に注意しましょう！

「令和2年産りんごの生産情報第1号」及び「令和2年産特産果樹の生産情報第1号」は4月上旬に発行予定です。

連絡先 : りんご果樹課生産振興グループ
電話番号 : 017-722-1111 代表
 内線 5092, 5097
 017-734-9492 直通